

# 皮膚灌流圧検査 (SPP)



## 皮膚灌流圧検査とは

対象となる部位に赤外線センサーをセットして、カフ(血圧を測るときに巻く布)を巻きます。カフの圧を一定まで上げたのちに、圧をゆっくりと落としていきます。この際、どれくらいの圧で対象部位に血液が流れ始めるかを調べる検査です。



## この検査からわかること

手や足にどの程度血液が灌流しているかわかります。重症虚血肢、難治性潰瘍などの評価を行います。



## 皮膚灌流圧検査を受ける患者様へ

検査時間は検査対象部位の数によって異なりますが、一か所計測するのにおおよそ15分程度かかります。複数箇所を検査する場合は1時間以上かかる事もあります。

そのため、事前にお手洗いなどを済ませてから検査を受けてもらうことになります。

また、検査対象部位の近くに潰瘍などの傷跡がある場合にはカフの圧上昇とともに痛みを訴える患者様もいます。どうしても痛みには耐えられない患者様の場合は主治医と相談しますので気軽にお声かけください。